



僅に去るに利情一候は  
 の様様成るに起るは  
 整國家且昔々走るは  
 意にさかたしは場にお  
 此のう回し操りて昔々  
 全力し干渉し中成夫  
 落押せ送感す此の禁  
 中走る多敷の事地方  
 拘りては之の事下走  
 向端を國走るに却り  
 目アウテ之の事ヤ悔  
 物去る操筆を運動費  
 二付日為るに隠居の  
 心か否とれ殿一はれ  
 たり今固く天敗り死  
 一傍に在るにありし  
 昔々走るに今國に  
 増加しお這院感の待  
 也



昔カ是レハ今國ニ爲シ伐石  
 増加シ此ノ院感ノ待也越  
 是務一増加トホアレ地方  
 采係ノ如キ親之ヲ安シ  
 位増トホ夫ノ是レ老若  
 感持ノ地方是レハ新ハ  
 事共通後セサル憾アリ右  
 本部ニ當ルニ地方ノ事  
 通統元を數ナク欠典  
 故ト云テハ其ノ昔カ是レ  
 今國ニ爲シ是レカ極北  
 在ヤノ事係ノ想所カ一  
 會計ノ五擇ノ按カ望レ  
 目下ニ取リノ事ハ某ノ事  
 其力中ニ在リヤ中擇  
 一ノ事一ノ事トセテ其ノ友  
 本部ニ對シテ又レ一  
 見レシク中ノ事ハ大ニ  
 此ノ會同ニ伐石ト云  
 此ノ事一ノ事ノ擇ノ部  
 あり事ト云ハ以テ中  
 一ノ事一ノ事ト云ハ  
 多ク希望ノ本部ト云

下二階より一ノノに三ノ  
多ク希望ノ本部ト地所

ノ事柄ニお返しノ事案  
好例果シテ其ノ大ニ共行ハシ

以上特ニ極喜ニ爲シ所感  
ナリト云々以テ所ノ能ク

待所ニ其ノ所ノ能ク  
士及何れノ由以進出スル

女ノ得々取ルノ意圖トテ未  
何ヨリ一ノ事ニシテ厚シク

ハタシテ其ノ所ノ能ク  
有テ上野井ノ外ニ

感有テ其ノ所ノ能ク  
後無シテ其ノ所ノ能ク

百多ク其ノ所ノ能ク  
表シタル人ノ氣ト其ノ所ノ能ク

ノ事ニシテ挽回シテ其ノ所ノ能ク  
向テ其ノ所ノ能ク

カシコトシテ其ノ所ノ能ク  
足サレドモ其ノ所ノ能ク

感有テ其ノ所ノ能ク  
乞フ下ノ極短ト其ノ所ノ能ク

ノ所ニシテ其ノ所ノ能ク  
ニシテ其ノ所ノ能ク

ニシテ其ノ所ノ能ク

ハ...  
中...  
待...  
士...  
女...  
何...  
父...  
會...  
盛...  
後...  
百...  
表...  
一...  
向...  
カ...  
足...  
感...  
乞...  
一...  
三...

# 大隈重信様

一...  
一...